

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

特殊な副伝導路を介するまたは有する頻拍回路の診断方法の探索的観察研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院循環器内科 外来医長、准教授 永嶋孝一

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2025年 12月 31日

<研究の目的と意義>

発作性上室頻拍において、房室結節リエントリー性頻拍と、房室結節-心室間もしくは房室結節-プルキンエ線維間の特殊な副伝導路を介した順方向性回帰性頻拍の診断は非常に難しくなっています。ただこれらの頻拍は稀有であり、実際の有病率も不明なばかりか、診断方法もあまり確立されていません。今回、これらの頻拍の有病率の把握と、診断基準の確立をすべく、多施設で患者さんのデータを集め、有病率の把握と診断基準の確立を目指します。

<利用する試料・情報の項目>

房室結節リエントリー性頻拍もしくは特殊な副伝導路を介した順方向性回帰性頻拍に対してカテーテルアブレーションを受けた患者さんの、心電図や心臓電気生理学的検査およびアブレーション中の心内心電図データを使用します。

<対象となる方>

1990年1月1日～2025年12月31日に当院循環器内科で房室結節リエントリー性頻拍もしくは特殊な副伝導路を介した順方向性回帰性頻拍に対するカテーテルアブレーション治療をされた方

<研究の方法>

上記患者さんのカテーテルアブレーション中に、心臓電気生理学的検査およびアブレーション中の心内心電図データを使用します。またペーシングによって診断したデータも使用し、診断の確立を目指します。ペーシング手技はいずれも診断に必要であり、どの患者さんにも行っている、安全性が確立された方法です。また得られたデータを後から解析しますので、安全性には問題ありません。この検討により、不整脈回路をより迅速に、正確に診断することが可能となり、治療で難渋することを回避することが目的です。

<研究組織>

群馬大学医学部附属病院循環器内科 金古善明

日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科 丸山光紀

山梨厚生病院 循環器内科 浅川哲也

大阪大学 循環器内科 関原孝之

三菱京都病院 循環器内科 川治徹真
奈良県立総合医療センター 循環器内科 阪井諭史
秋田大学医学部附属病院 循環器内科 岩川英弘
国立循環器病研究センター 循環器内科 永瀬聡
大阪労災病院 循環器内科 江神康之
仙台市立病院 循環器内科 八木哲夫
北里大学病院 循環器内科 深谷英平
大阪南医療センター 循環器内科 長谷川新治

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

循環器内科 氏名：永嶋 孝一

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2413 (PHS) 8142